

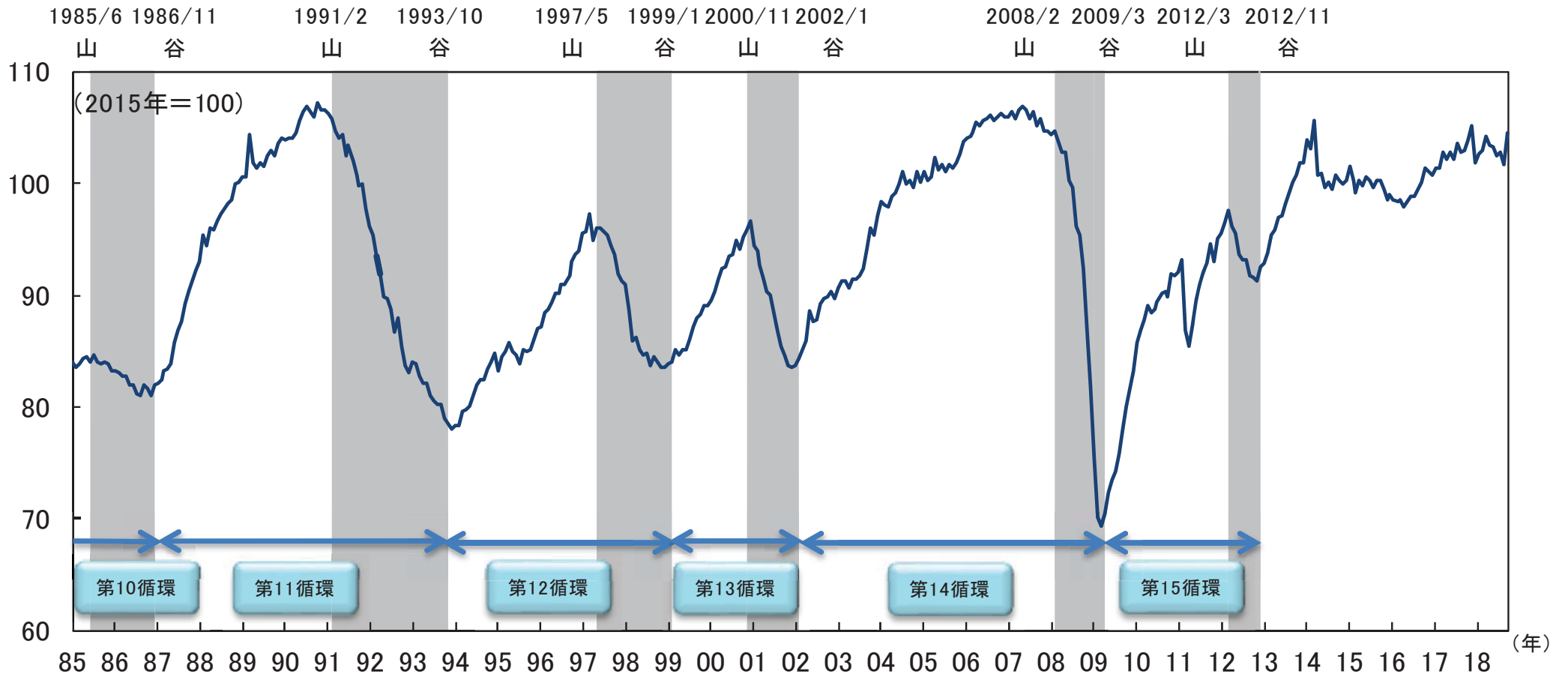
参考図表

目次

図表1	CI一致指数の推移	1
図表2	ヒストリカルDI(一致指数)の推移	2
図表3	ヒストリカルDI(一致指数)の推移グラフ	3
図表4	景気基準日付	4
図表5	実質GDPの動向(季節調整系列、前期比)	5
図表6	日銀短観(業況判断DI)の動向	6
図表7	各循環のCI一致指数の動き	7
図表8	CI一致指数 各局面における個別系列の寄与率	8
図表9	CI先行指数、遅行指数の推移	9
図表10	CI一致指数 個別系列の推移	10

図表1

CI一致指数の推移



(注) シャド一部分は景気後退期を示す。

図表2

第15循環の景気の谷以降の状況

ヒストリカルDI（一致指数）

	2012年	平成25年(2013年)												平成26年(2014年)												
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
景気基準日付																										
C1 生産指数(鉱工業)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C2 鉱工業用生産財出荷指数	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C3 耐久消費財出荷指数	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C4 所定外労働時間指数(調査産業計)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C5 投資財出荷指数(除輸送機械)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C6 商業販売額(小売業)(前年同月比)	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C7 商業販売額(卸売業)(前年同月比)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C8 営業利益(全産業)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
C9 有効求人倍率(除学卒)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
拡張系列数	8	8	8	9	9	9	9	9	9	9	9	9	8	8	7	7	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
採用系列数	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
一致指数	88.9%	88.9%	88.9%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	88.9%	88.9%	77.8%	77.8%	22.2%	22.2%	22.2%	22.2%	22.2%	22.2%	22.2%	22.2%	22.2%	22.2%

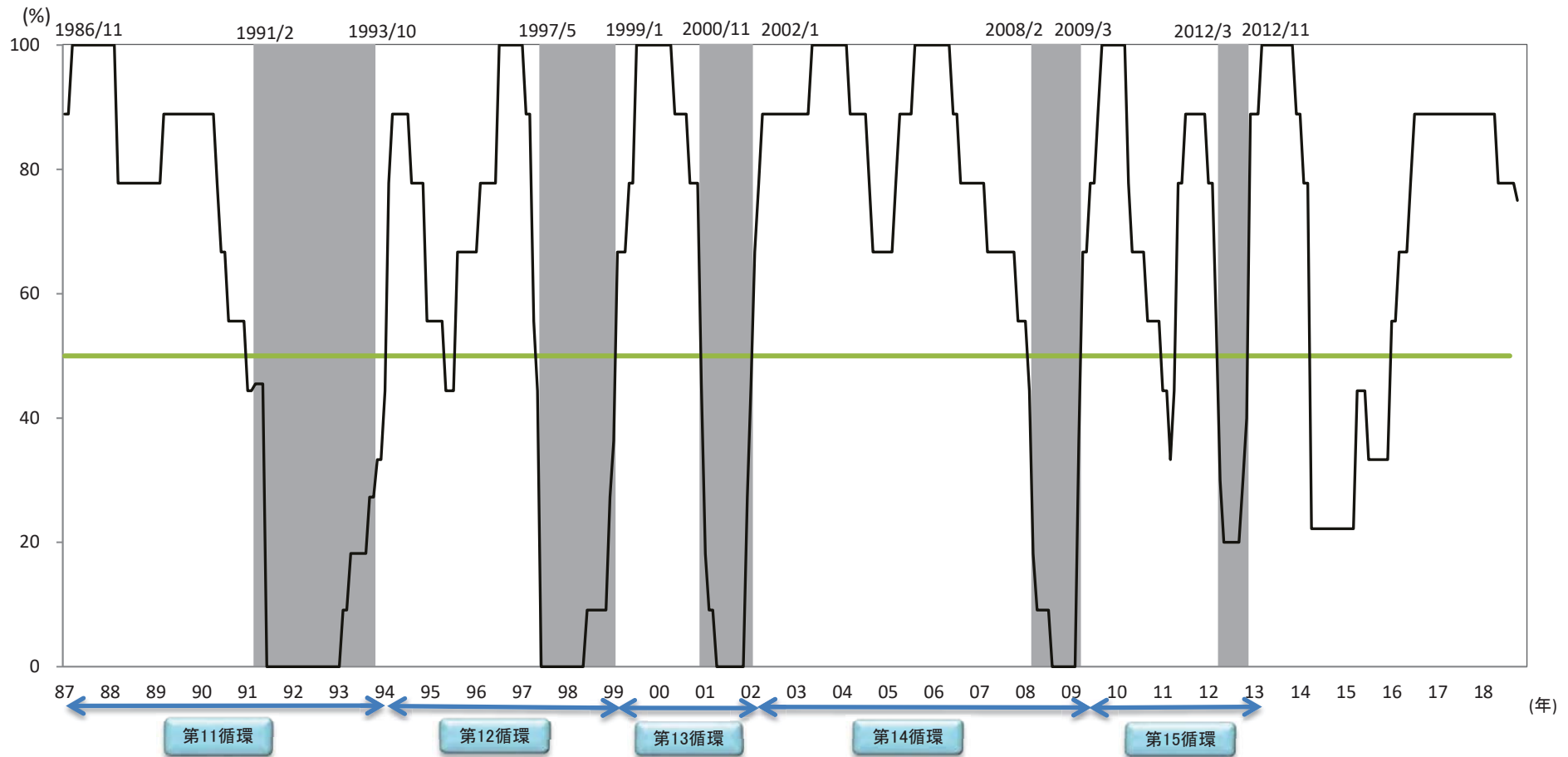
	平成27年(2015年)												平成28年(2016年)													
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
景気基準日付																										
C1 生産指数(鉱工業)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+	+
C2 鉱工業用生産財出荷指数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
C3 耐久消費財出荷指数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
C4 所定外労働時間指数(調査産業計)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C5 投資財出荷指数(除輸送機械)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
C6 商業販売額(小売業)(前年同月比)	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
C7 商業販売額(卸売業)(前年同月比)	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
C8 営業利益(全産業)	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+
C9 有効求人倍率(除学卒)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
拡張系列数	2	2	2	4	4	4	3	3	3	3	3	3	5	5	6	6	6	7	8	8	8	8	8	8	8	
採用系列数	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	
一致指数	22.2%	22.2%	22.2%	44.4%	44.4%	44.4%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	55.6%	55.6%	66.7%	66.7%	66.7%	77.8%	88.9%	88.9%	88.9%	88.9%	88.9%	88.9%	88.9%	

	平成29年(2017年)												平成30年(2018年)												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月			
景気基準日付																									
C1 生産指数(鉱工業)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
C2 鉱工業用生産財出荷指数	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
C3 耐久消費財出荷指数	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C4 所定外労働時間指数(調査産業計)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
C5 投資財出荷指数(除輸送機械)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
C6 商業販売額(小売業)(前年同月比)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
C7 商業販売額(卸売業)(前年同月比)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C8 営業利益(全産業)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
C9 有効求人倍率(除学卒)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
拡張系列数	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	7	7	7	7	7	7	7	7	6
採用系列数	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	8
一致指数	88.9%	88.9%	88.9%	88.9%	88.9%	88.9%	88.9%	88.9%	88.9%	88.9%	88.9%	88.9%	88.9%	88.9%	88.9%	88.9%	77.8%	77.8%	77.8%	77.8%	77.8%	77.8%	75.0%		

(注) 2018年10月値は「C4所定外労働時間指数(調査産業計)」の10月速報値を含めて算出している。

図表3

ヒストリカルDI(一致指数)の推移



(注1) シャドー部分は景気後退期を示す。

景気後退期のヒストリカルDIの値は、景気の高・谷を確定した当時のデータに基づく値である。

(注2) ヒストリカルDIとは、各経済部門への景気の波及度合いを把握するため、CI一致指数の個々の採用系列(9系列)について、拡張局面にある系列数の全体に占める割合を算出したもの。

(注3) 2018年10月値は「C4所定外労働時間指数(調査産業計)」の10月速報値を含めて算出している。

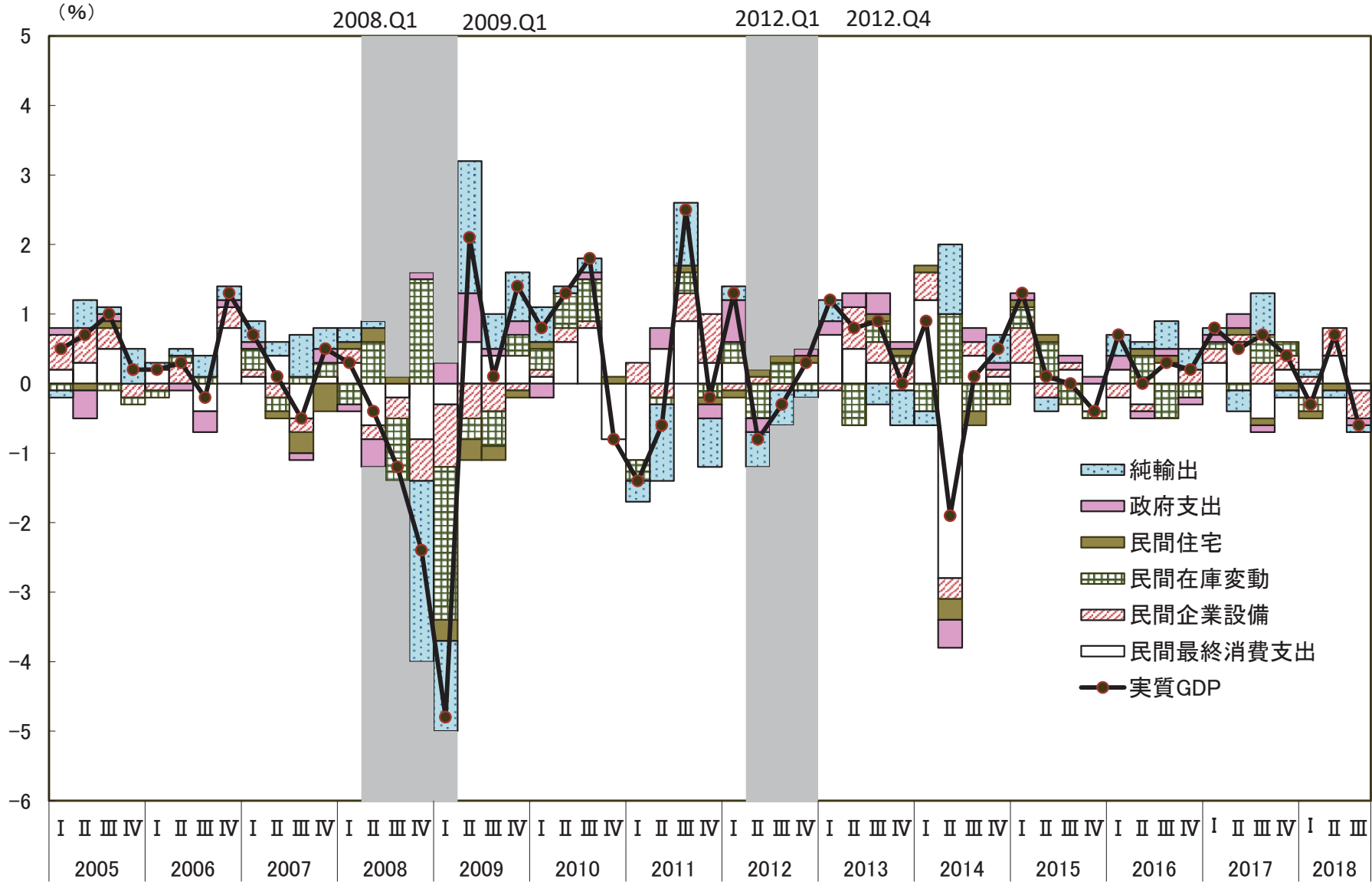
図表4

景気基準日付

	谷	山	谷	期間			(参考)四半期基準日付	
				拡張	後退	全循環	山	谷
第1循環		1951年6月 (昭和26年6月)	1951年10月 (昭和26年10月)		4か月		1951年4～6月 (昭和26年4～6月)	1951年10～12月 (昭和26年10～12月)
第2循環	1951年10月 (昭和26年10月)	1954年1月 (昭和29年1月)	1954年11月 (昭和29年11月)	27か月	10か月	37か月	1954年1～3月 (昭和29年1～3月)	1954年10～12月 (昭和29年10～12月)
第3循環	1954年11月 (昭和29年11月)	1957年6月 (昭和32年6月)	1958年6月 (昭和33年6月)	31か月	12か月	43か月	1957年4～6月 (昭和32年4～6月)	1958年4～6月 (昭和33年4～6月)
第4循環	1958年6月 (昭和33年6月)	1961年12月 (昭和36年12月)	1962年10月 (昭和37年10月)	42か月	10か月	52か月	1961年10～12月 (昭和36年10～12月)	1962年10～12月 (昭和37年10～12月)
第5循環	1962年10月 (昭和37年10月)	1964年10月 (昭和39年10月)	1965年10月 (昭和40年10月)	24か月	12か月	36か月	1964年10～12月 (昭和39年10～12月)	1965年10～12月 (昭和40年10～12月)
第6循環	1965年10月 (昭和40年10月)	1970年7月 (昭和45年7月)	1971年12月 (昭和46年12月)	57か月	17か月	74か月	1970年7～9月 (昭和45年7～9月)	1971年10～12月 (昭和46年10～12月)
第7循環	1971年12月 (昭和46年12月)	1973年11月 (昭和48年11月)	1975年3月 (昭和50年3月)	23か月	16か月	39か月	1973年10～12月 (昭和48年10～12月)	1975年1～3月 (昭和50年1～3月)
第8循環	1975年3月 (昭和50年3月)	1977年1月 (昭和52年1月)	1977年10月 (昭和52年10月)	22か月	9か月	31か月	1977年1～3月 (昭和52年1～3月)	1977年10～12月 (昭和52年10～12月)
第9循環	1977年10月 (昭和52年10月)	1980年2月 (昭和55年2月)	1983年2月 (昭和58年2月)	28か月	36か月	64か月	1980年1～3月 (昭和55年1～3月)	1983年1～3月 (昭和58年1～3月)
第10循環	1983年2月 (昭和58年2月)	1985年6月 (昭和60年6月)	1986年11月 (昭和61年11月)	28か月	17か月	45か月	1985年4～6月 (昭和60年4～6月)	1986年10～12月 (昭和61年10～12月)
第11循環	1986年11月 (昭和61年11月)	1991年2月 (平成3年2月)	1993年10月 (平成5年10月)	51か月	32か月	83か月	1991年1～3月 (平成3年1～3月)	1993年10～12月 (平成5年10～12月)
第12循環	1993年10月 (平成5年10月)	1997年5月 (平成9年5月)	1999年1月 (平成11年1月)	43か月	20か月	63か月	1997年4～6月 (平成9年4～6月)	1999年1～3月 (平成11年1～3月)
第13循環	1999年1月 (平成11年1月)	2000年11月 (平成12年11月)	2002年1月 (平成14年1月)	22か月	14か月	36か月	2000年10～12月 (平成12年10～12月)	2002年1～3月 (平成14年1～3月)
第14循環	2002年1月 (平成14年1月)	2008年2月 (平成20年2月)	2009年3月 (平成21年3月)	73か月	13か月	86か月	2008年1～3月 (平成20年1～3月)	2009年1～3月 (平成21年1～3月)
第15循環	2009年3月 (平成21年3月)	2012年3月 (平成24年3月)	2012年11月 (平成24年11月)	36か月	8か月	44か月	2012年1～3月 (平成24年1～3月)	2012年10～12月 (平成24年10～12月)
第16循環	2012年11月 (平成24年11月)							
第2～第15循環 の平均				36.2か月	16.1か月	52.4か月		

図表5

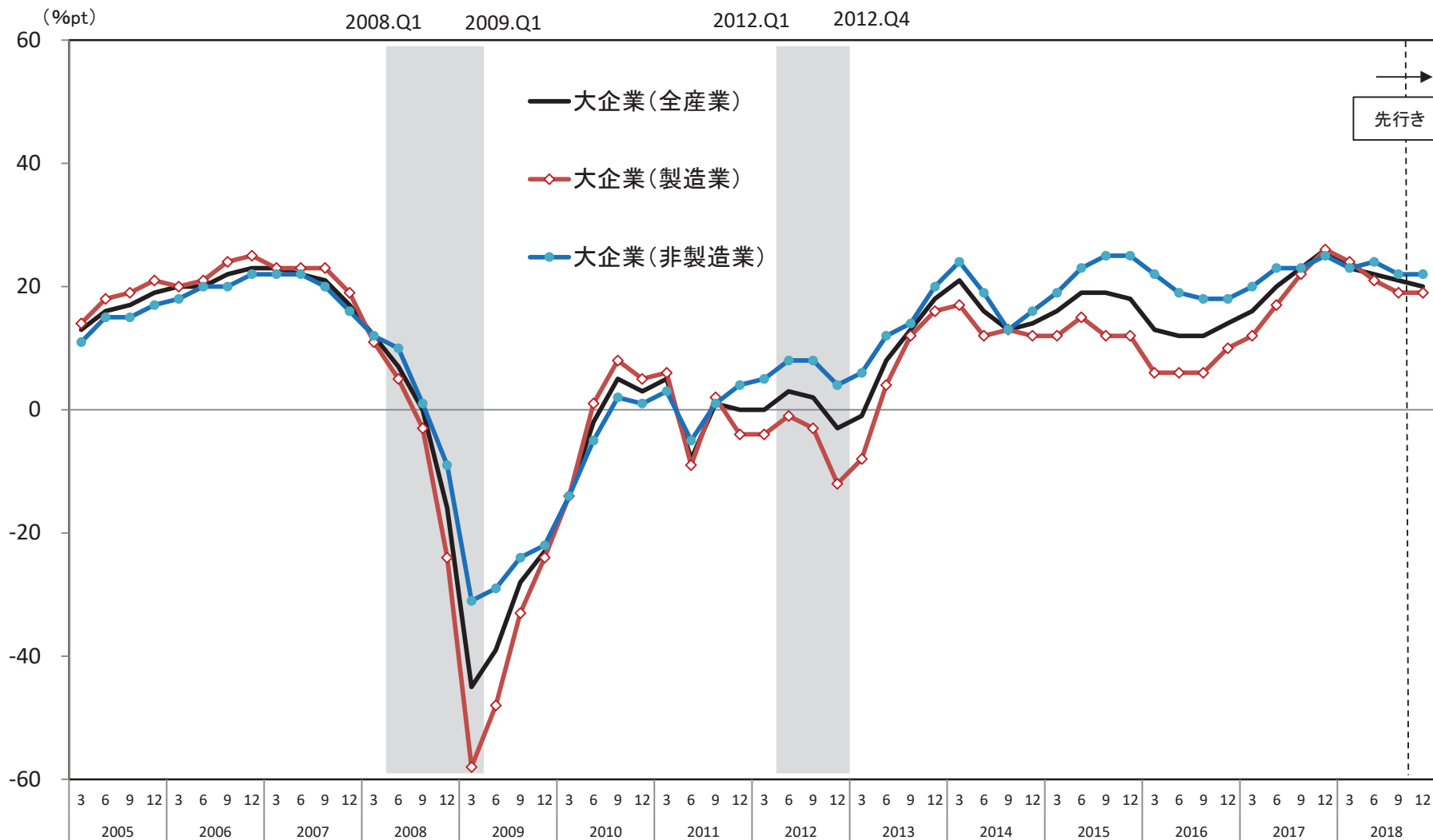
実質GDPの動向(季節調整系列、前期比)



(注)シャド一部分は、景気後退期を示す。

図表6

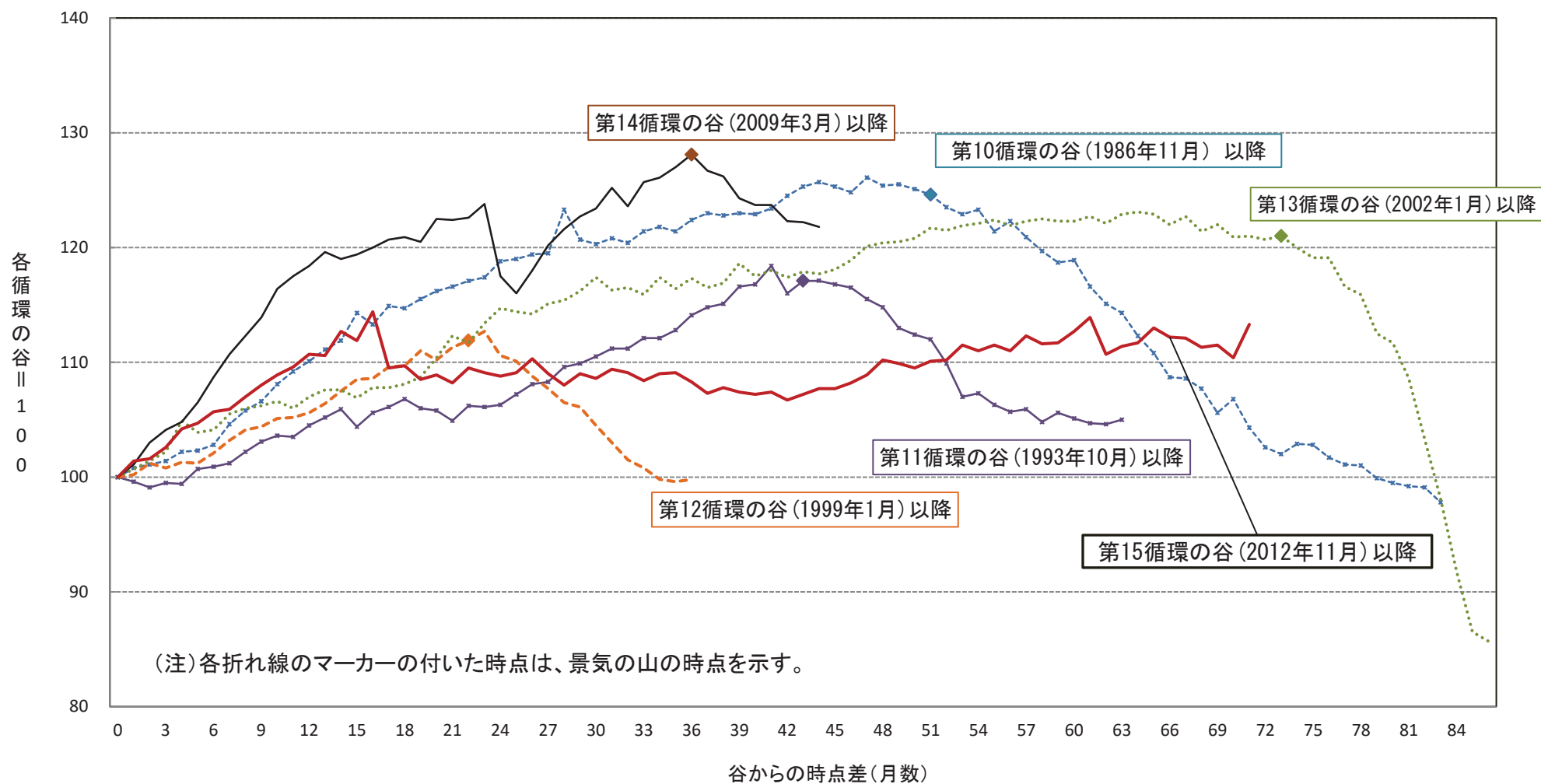
日銀短観（業況判断DI）の動向



(注1) 業況判断DI : 「良い」(回答社数構成比) - 「悪い」(回答社数構成比)

(注2) シャドー部分は、景気後退期を示す。

図表7 各循環のCI一致指数の動き(各循環の谷=100)



図表8 CI一致指数 各局面における個別系列の寄与率

(単位:%)

	第11循環 拡張局面	第11循環 後退局面	第12循環 拡張局面	第12循環 後退局面	第13循環 拡張局面	第13循環 後退局面	第14循環 拡張局面	第14循環 後退局面	第15循環 拡張局面	第15循環 後退局面	第15循環 の谷以降 (注)	平均 (第11～15循環)	拡張局面	後退局面
生産指数 (鉱工業)	12.3	6.8	9.7	10.2	8.2	14.0	13.1	12.3	12.0	15.4	9.5	11.4	11.1	11.7
鉱工業用生産財 出荷指数	12.8	5.5	10.8	6.8	12.1	14.9	18.3	14.0	15.1	19.2	11.8	13.0	13.8	12.1
耐久消費財 出荷指数	8.1	2.4	3.7	1.0	3.8	2.5	10.2	9.7	6.0	27.6	1.6	7.5	6.4	8.7
所定外労働時間指数 (調査産業計)	3.1	19.1	19.0	16.9	11.4	11.8	13.3	12.8	11.5	9.9	0.9	12.9	11.7	14.1
投資財出荷指数 (除輸送機械)	13.4	6.4	9.2	8.2	5.8	13.6	5.9	7.9	5.0	13.6	15.2	8.9	7.9	9.9
商業販売額(小売業) (前年同月比)	0.9	2.4	1.0	9.9	3.8	3.0	3.5	3.2	3.4	12.9	-1.2	4.4	2.5	6.3
商業販売額(卸売業) (前年同月比)	3.8	4.8	0.5	4.5	4.3	3.7	6.7	6.4	5.9	3.2	4.5	4.4	4.2	4.5
営業利益 (全産業)	26.3	14.5	13.3	26.7	31.0	25.5	24.0	19.7	22.0	13.2	44.0	21.6	23.3	19.9
有効求人倍率 (除学卒)	19.2	38.1	32.8	15.8	19.7	11.0	5.0	13.9	19.2	-15.1	13.8	15.9	19.2	12.7
計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		

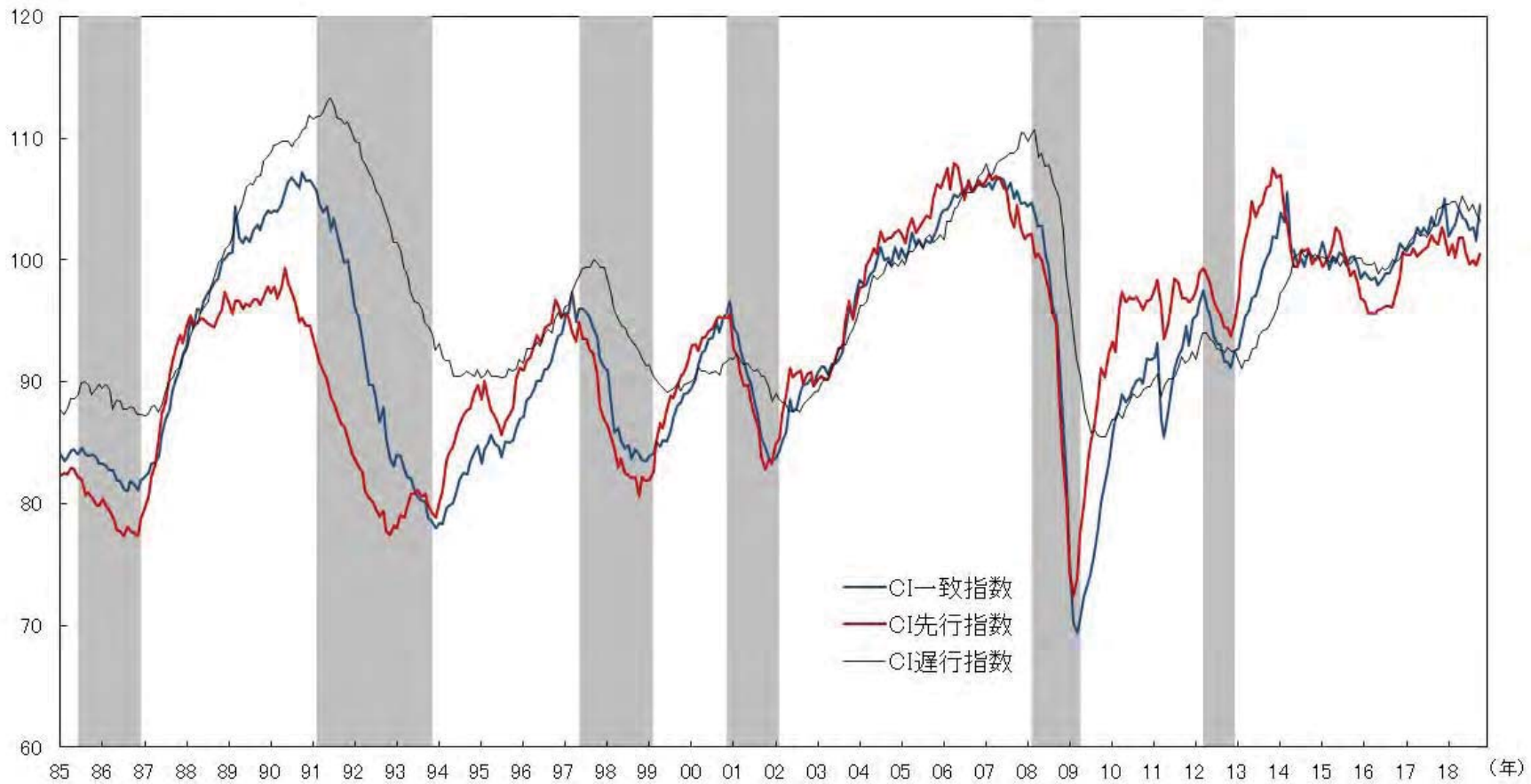
(注1) 各月において、一致指数採用系列の寄与度の総和はCI一致指数の前月差となる。したがって、各一致指数採用系列の各局面におけるCIの変化に対する寄与率は、累積された寄与度がCIの変化に占める割合として計算される。

(注2) 「第15循環の谷以降」の値は平成24年12月～平成30年10月までの期間について算出。

図表9

CI先行指数、遅行指数の推移

(2015年=100)

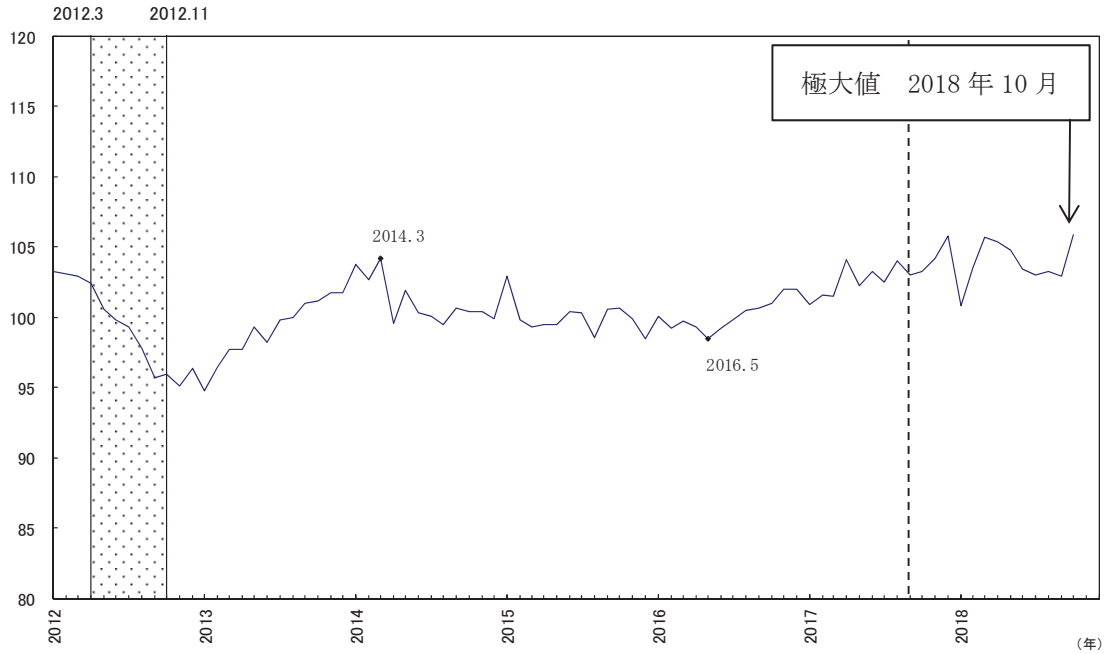


(注) シャド一部分は景気後退期を示す。

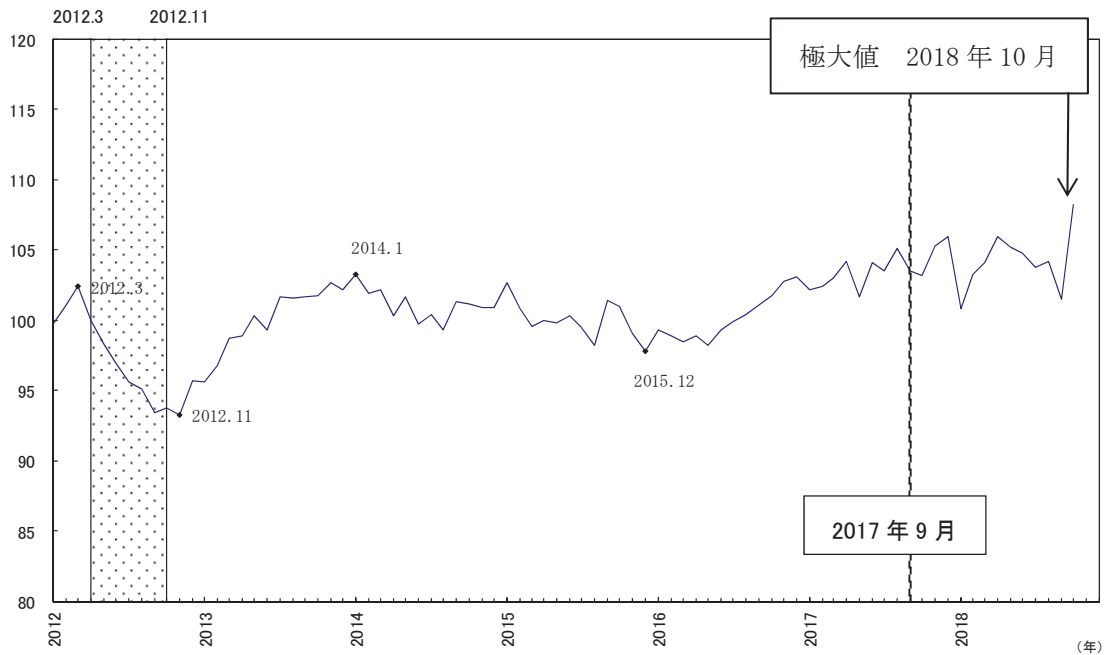
図表 10

CI 一致指数 個別系列の転換点及び直近の極大値
(2018年10月分速報時点)

C1 生産指数(鉱工業)

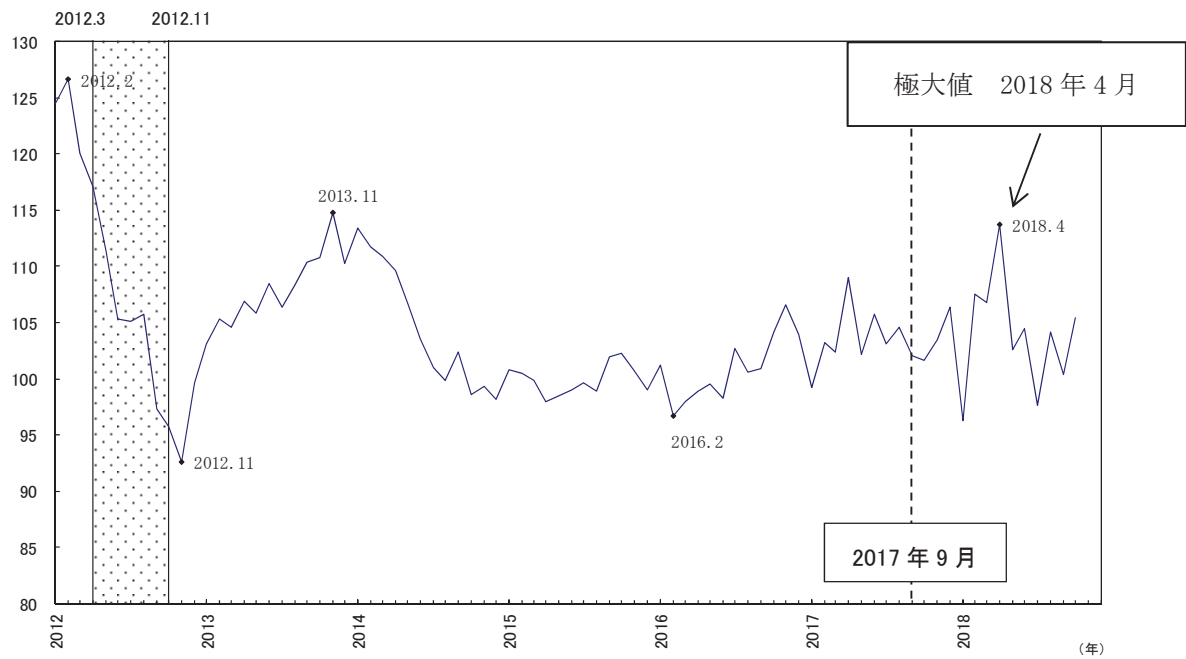


C2 鉱工業用生産財出荷指数

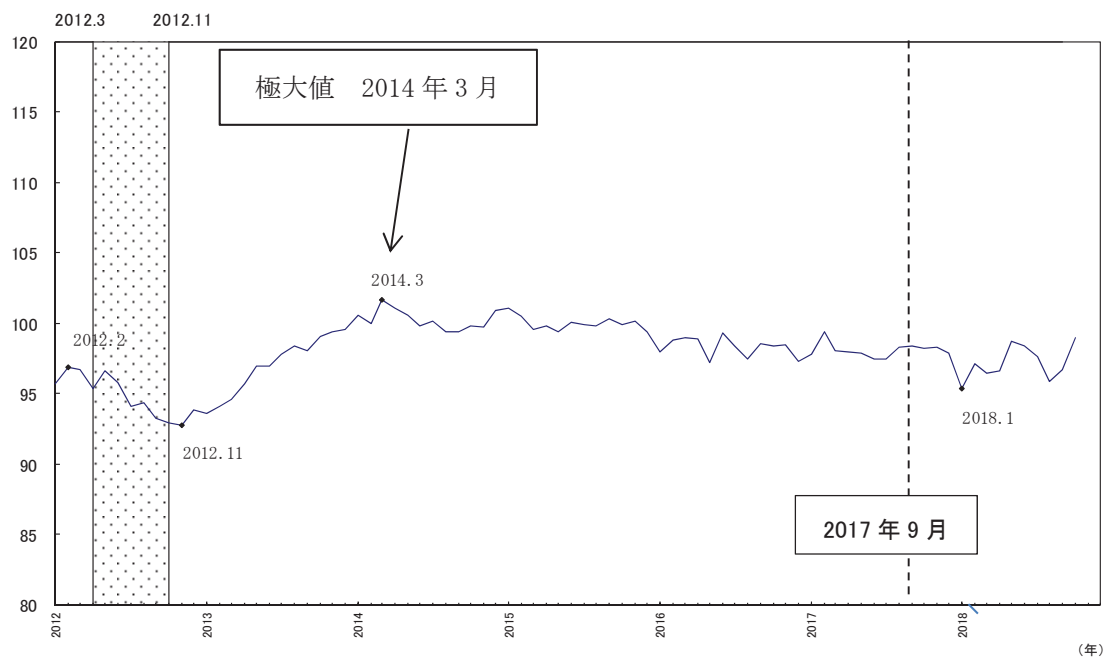


個別系列の転換点(山・谷)設定にはNBERで開発されたBry-Boschan法を適用している。
(各系列に段階的に移動平均をかけながら、①山と谷の間が5か月以上、②一循環は15か月以上等の経験則を条件とし、徐々に原データに近づきながら、山谷を設定)

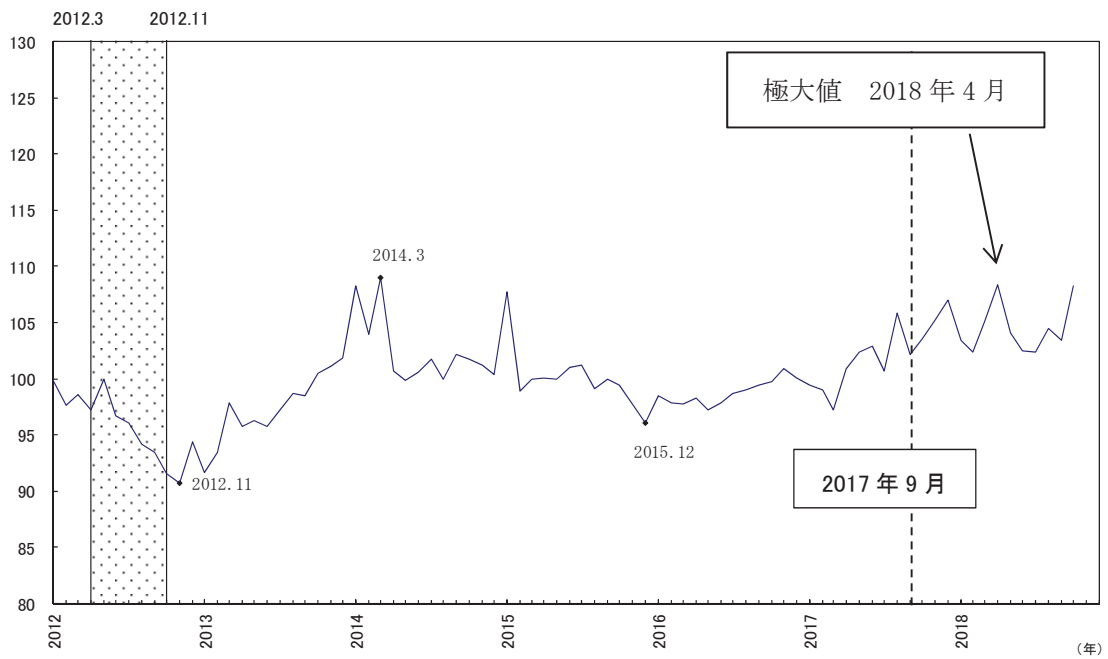
C3 耐久消費財出荷指数



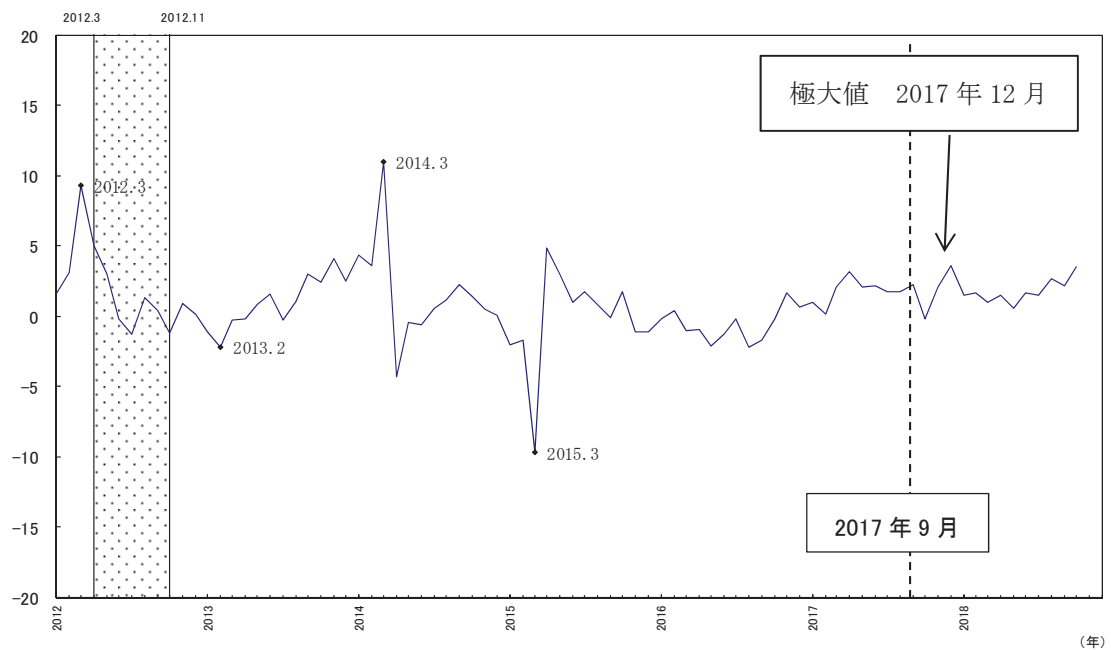
C4 所定外労働時間指数(調査産業計) ※「毎勤」10月分速報値



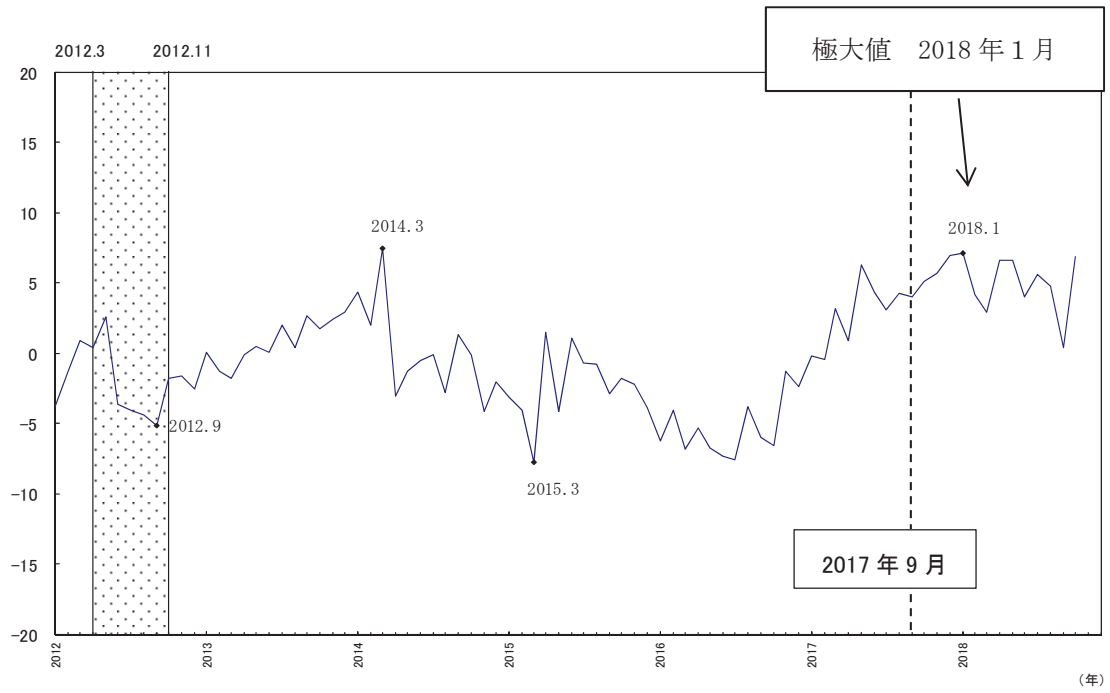
C5 投資財出荷指数(除輸送機械)



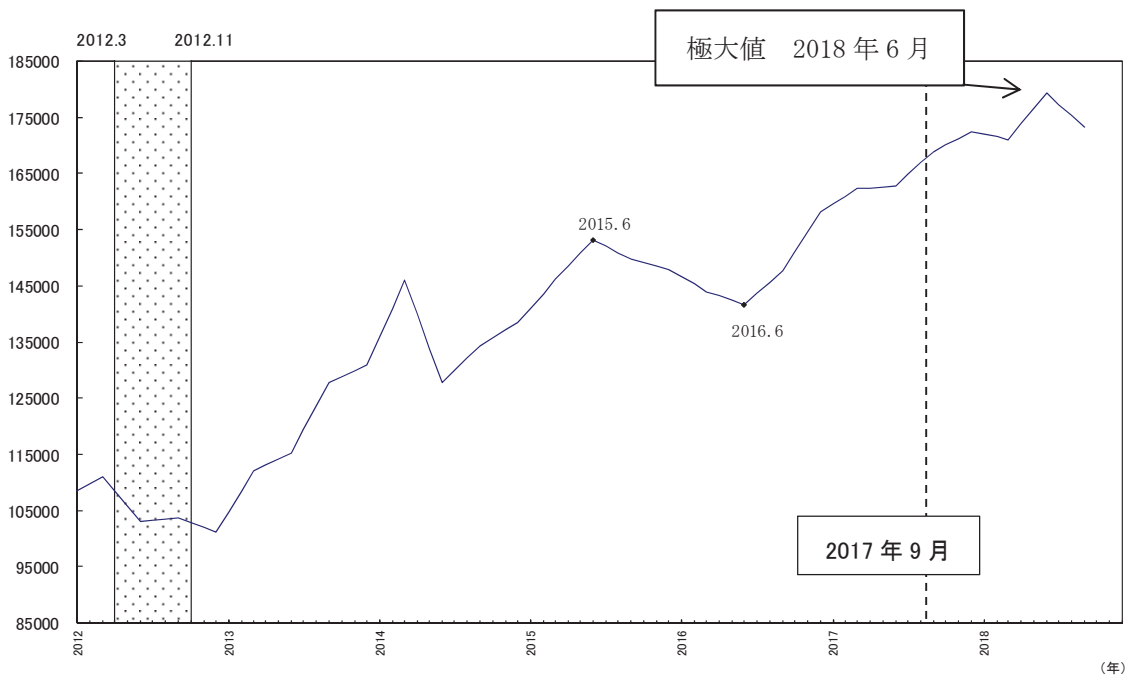
C6 商業販売額(小売業)(前年同月比)



C7 商業販売額(卸売業)(前年同月比)



C8 営業利益(全産業)



C9 有効求人倍率(除学卒)

